

2023年度

事業報告書

特定非営利活動法人 WELgee

1. 事業の成果

(1) 【職業紹介事業】

職業紹介事業では、中長期就労を前提にした日本企業での採用事例を12件（＝お試し雇用やパートタイム雇用からのスタート事例6件、正社員雇用事例6件）生み出した。

また、難民認定申請中の特定活動の在留資格から、就労に紐づく在留資格への変更事例を新たに4件実現することができた。また、在留資格変更ができた後に、家族を祖国から日本へ呼び寄せることができた事例もあった。

その他、職業紹介事業のサービスブランディングを行い、「WELgee Talents」として、難民人材の価値やサービスの提供価値、日本企業における難民の採用意義を言語化し、難民人材採用の事例を増やすための取り組みを実施した。

(2) 【難民の日本社会への統合を促す事業】

年間通算78名の新規の難民の方との接点生まれ、設立から2024年3月末時点で出会った難民の方は延べ456名となった。

育成事業では、難民申請者のスキル向上や就職活動に向けた意識醸成のために、Career Training Program と題し、日本と海外の就活事情の違いや日本語を学習することの重要性を伝えつつ、弊団体が提供しているキャリア支援プログラムの情報提供を行うワークショップを実施した。延べ参加者数は43名で、このうち29名が次のステップとして、メンターシッププログラムに参加した。

ボランティアメンターと難民の方が1対1のペアになり、3か月間、自己分析、履歴書作成、面接練習を通じて、就職文化の違いについて身をもって学ぶなど、キャリアについて見つめ直す機会を提供するメンターシッププログラムでは、計29名に伴走した。

昨年度パイロット版を実施し、2023年度から本格始動した日本語学習プログラムでは、日本企業で就労するうえで必須となる日本語能力向上を目的に、10か月間、提携先の日本語学校の学習プログラムへの受講費を弊団体が拠出、加えて、授業前後のサポートを実施する形で学習機会を提供した。今年度は、8名の方が参加した。次年度に向けて学習サポートの設計を再度構築していく必要がある。

(3) 【難民の現状と課題を調査・発信する事業】

啓発事業として、企業や学校、自治体等の団体に対して、計30回の講演を実施した。また、世界難民の日周辺の難民課題への関心が高まる中での発信等に特に注力し、計55回のメディア取材機会において、難民を受入れる日本社会側の認識を変えていくために活動した。

(4) 【その他目的を達成するために必要な事業】

日本に逃れた難民の方たちが、日本企業のビジネスリーダーとの交流を通して、今後の日本でのキャリアを描き、就職活動に踏み出すきっかけとなる「Refugee Career Demo-Day2023」を開催した。各業界を牽引する企業13社からの協賛、新経済連盟の後援の元、多様な業界・業種の40社、56名のビジネスリーダーと、難民の方20名が交流する機会となった。イベントでは難民人材として活躍する先輩や採用企業の声を聞くパネルディスカッションや、各グループに分かれてのディスカッションを実施し、日本企業・難民当事者双方の視点から、難民人材採用を通じた日本企業の組織の変化について、議論した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業
円)

(事業費の総費用【 35,724 】千

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
職業紹介事業	職業紹介事業	通年	関東	7人(兼任)	就労許可を持つ難民/外国人材採用に関心のある企業	12名	11,554
難民の日本社会への統合を促す事業	・育成事業 ・採用検討企業拡大のための施策実施	通年	関東	5人(兼任)	日本で暮らす難民申請中の者を含む難民・避難民	キャリア教育機会参加者延べ80名	11,580
難民の現状と課題を調査・発信する事業	啓発事業	不定期	関東	3人	日本企業・市民	各回10人～50人規模・計30回	7,910
その他目的を達成するために必要な事業	ファンドレイジング他	不定期	不特定	3人	日本企業・市民	—	4,678

(2) その他の事業
なし

(事業費の総費用【 0 】千円)